

# 知事とJR東海・金子社長との会談（概要）

長野県建設部 リニア整備推進局

1 日 時：令和5年3月8日（水）15：00～16：00

2 会 場：都道府県会館 410号会議室

## 3 概要

### 《挨拶》

#### ○阿部知事

- ・日頃からリニア中央新幹線の工事にあたり、私どもの考え、あるいは地域の声を聞いていただきながら進めていただいていること、改めて御礼申し上げます。
- ・今日も、地域の皆様の不安や課題について、直接お伝えさせていただくことをいくつか持ってきた。
- ・何度も繰り返し申し上げているように、リニア中央新幹線は長野県にとって非常に大きな効果をもたらす事業である一方、地域の皆様方の理解と協力なしに工事を進めることは難しい。これからも地域の声にしっかり耳を傾けて事業を進めていただきたい。

#### ●JR東海金子社長

- ・中央新幹線の推進にあたり、知事をはじめ、長野県の皆様にはご協力いただき感謝する。また毎年、直接意見交換をする場を設けていただくことは、大変有効なことであり感謝申し上げます。
- ・今年4月1日から、副社長の丹羽が社長となるが、継続してこのような形で進めていきたい。
- ・昨年12月には、副社長の宇野をはじめ、関係するメンバーが飯田市に伺い、地元各市町村長の皆様から直接お話を伺った。地元のご意見を伺いながら、意思疎通を密にして進めることは大切だと考えており、引き続きしっかりとやっていきたい。
- ・南アルプストンネル、中央アルプストンネル、伊那山地トンネルでは本坑の工事を進めている。
- ・昨年は長野県駅の起工式を執り行った。県の道路事業や、飯田市の周辺整備事業ともよく調整を取り、リニアの効果がより広がることを期待しながら、プロジェクトを進めていく。
- ・工事にあたっては、工事の安全、環境の保全、地域との連携を大切にして進めていく。

## 《懇談概要》

### 【開業時期の早期明示及び県内工区の早期完成】

#### ○阿部知事

- ・開業時期が不透明ということは、我々にとっても非常に大きな問題。例えば企業誘致をするにしても、開業時期を問われて明確なお話ができないということは、地域の発展の大きな障壁となる。
- ・静岡工区について、早期に課題解決を図っていただいたうえで、開業時期の見通しを早急に立てていただきたい。
- ・長野県内の工事について、しっかり進めていただきたい。また、市町村で後利用を検討している発生土置き場やガイドウェイヤードにおいて、事業のスケジュールに支障が生じないように、市町村の皆様とよく調整して進めていただきたい。

#### ●JR東海金子社長

- ・開業時期については、現時点では見通しが立たない。
- ・静岡工区の水資源と環境について、それぞれ国土交通省に有識者会議を設けていただいている。水資源については、一昨年の12月19日に「大井川水資源問題に関する中間報告」が取りまとめられた。
- ・環境の議論は、昨年6月に始まり、論点を整理していただき進めている。

### 【工事車両の通行及び安全対策】

#### ○阿部知事

- ・松川町の小学校で交通安全教室をやっていただいたと伺っており、大変ありがたい。
- ・地域の皆様の懸念、不安の一つが工事用車両の安全運行、安全対策である。交通法規の遵守や、丁寧な地元対応を行っていただき、地域の皆様の不安、懸念払しょくを、工事用車両運行の面からしっかりおこなっていただきたい。
- ・大鹿村において、土日休日や観光シーズンの運行にご配慮いただいているが、引き続きしっかりお取り組みいただきたい。
- ・先日、大鹿村の皆様が私のところに来られ、ご配慮いただいていることに対して、大変ありがたいという話もあった。100%満足ということではないが、このような対応をしていただけるということは、私としてもありがたい。
- ・できる限り地域の皆様のご意見を聞きながら対応していただきたい。

#### ●JR東海金子社長

- ・大鹿村では、昨年、発生土の運搬車両の運行について、GW・お盆・年末年始に加えて土曜日に17日間運休した。
- ・引き続き、地元の皆様にお話を伺いながら進めていきたい。

## 【開業後の環境対策（騒音）に関する対応】

### ○阿部知事

- ・開業後の騒音対策について、リニア開業後直ちに環境基準を達成できるようにしていただきたい。
- ・住民の皆様から様々な意見が出ているが、ぜひ地元の意向に最大限即しながら対応いただきたい。
- ・特に、今後地元の皆様、飯田市、JR東海の三者で協議されていくと伺っている。ぜひ飯田市とよく調整いただき、理解が得られ地域が将来に向けて希望が持てるよう、丁寧に対応いただきたい。

### ●JR東海金子社長

- ・開業後についても、しっかり責任をもってやっていく。
- ・飯田市ともしっかり調整させていただく。

## 【発生土置き場の盛土計画における住民への配慮】

### ○阿部知事

- ・熱海市の土砂災害等もあり、地域の皆様方が抱える不安感の払拭は、県もしっかり対応を考えていかなければいけない課題。
- ・発生土の処理にあたっては、安全対策をしっかり講じていただくとともに、地元の皆様、関係者に対して丁寧に説明、情報共有を行っていただきたい。
- ・ご存じのとおり、長野県では今年の1月から「長野県土砂等の盛土等の規制に関する条例」（通称、盛土条例）を新しく制定した。経過措置の対象案件を含め、しっかり対応いただきたい。
- ・特に盛土条例と、リニア事業における発生土置き場の関係は、地域の皆様も関心が高いので、しっかりと条例に基づいた手続きをとっていただきたい。

### ●JR東海金子社長

- ・盛土条例に基づき、長野県にも確認いただきながら、地元の皆様の理解を得られるようにしっかり進めていく。
- ・阿智村、南木曾町において発生土置き場が決まっていないのが課題である。引き続きご協力いただきたい。

## 【要対策土の処理】

### ○阿部知事

- ・不安、心配を払しょくしていくことが一番重要な観点。地元からの要望にもあるように、しっかりとした情報提供や、安全に対する知見を、関係者や住民の皆様へ共有していただきたい。

## ●JR東海金子社長

- ・自社用地における試験施工の進捗や、検討の状況などを共有し、不安感がなくなるよう進めていく。
- ・自社用地において活用することはもちろんであるが、公共用地の中で活用する余地があればお願いしたい。

## 【工事現場における安全対策等について】

### ○阿部知事

- ・労働災害が相次いで発生したことで、リニア工事に対する懸念の声が一時期高まった。事故が繰り返されることが無いように、安全対策の実施に全力で取り組んでいただくとともに、関係者の皆様の安全意識向上に努めていただきたい。
- ・安全面とは異なるが、中川村の半の沢発生土置き場において、生コンの洗浄水を不適切に処理するという事案もあった。こうしたことが起きないように、関係する事業者の皆様へ、コンプライアンスを徹底し、しっかりと適切な対応をしていただき、住民の皆様から不信感を持たれることが無いようお願いする。

## ●JR東海金子社長

- ・定期的に中央新幹線安全推進協議会を開催してきた中で、安全対策等の情報共有を行うなど、労働災害防止に取り組んでいる。
- ・コンプライアンスについても、しっかり指導していく。

## 【丁寧な対応による地元の不安払拭】

### ○阿部知事

- ・工事が本格化する中で、丁寧な説明、あるいは十分な情報提供がますます重要になってきている。引き続き住民の皆様への丁寧な説明、情報提供をしっかり行っていただきたい。
- ・先日南木曾町に伺った際、町長から水道水源予備的措置への対応の一部について、町に不安感があるということなので、町の不安感をご理解いただいたうえで、丁寧な対応をお願いしたい。

## ●JR東海金子社長

- ・昨年11月に飯田ケーブルテレビにご協力いただき、南アルプストンネルの特集を放送していただいた。当社のホームページにも「長野工事事務所からのお知らせ」というページを設け、積極的に情報提供をしている。
- ・南木曾町の件については、丁寧に説明をしていく。

## 【観光振興・地域振興への協力】

### ○阿部知事

- ・観光振興や地域振興について、これまでも様々なご協力をいただいていることに感謝申し上げます。
- ・地元の皆様方の中には、工事に協力することで、負担があるという思いの人もいる。観光振興や地域振興にもできるだけ地元の声をくみ取っていただき、ご協力いただきたい。
- ・飯田線の関係者の皆様からは、サイクルトレインを走らせてほしいという声もある。ぜひご検討いただきたい。

### ●JR東海金子社長

- ・大鹿村では村主催のウォーキングイベントに協力したほか、長野県と飯田線の車内にポスターを載せて情報発信を行っている。引き続き連携して取り組んでいきたい。
- ・サイクルトレインについて、ご要望をいただいていることは承知しているが、一般の車両の中に混乗するというのは、混雑時には困難である。具体的な内容をお伺いし検討していく。

## 【停車本数及び在来線の接続に関するお願い】

### ○阿部知事

- ・リニア開業時には長野県駅へ上下それぞれ1時間に1本以上停車するというのを早期に表明していただきたい。
- ・併せて、飯田線及び中央西線とスムーズな接続についてもご検討いただきたい。
- ・これから飯田市を中心に、駅前の整備を具体化していくし、県も道路ネットワークの整備を順次進めていく。次の段階として、リニア駅からの二次交通を具体的にどう図っていくかという段階になるが、停車本数が分からなければ、極めて抽象的な議論しかできないので、我々としては早期にお示しいただくことを強く願っている。

### ●JR東海金子社長

- ・当社も便利な駅にして活用していく必要があると考えているが、ダイヤを表明するためには様々な要素を決めなければならず、もう少し時間が経ってからということにならざるを得ない。

## 【脱炭素社会への協力】

### ○阿部知事

- ・ゼロカーボン社会を目指していくということは、世界共通の課題。県としてもゼロカーボン社会に向けた取り組みを進めていくので、こうした取り組みにもご協力いただきたい。

## ●JR東海金子社長

- ・当社は、2030年度のCO2排出量について、2013年度比で46%削減とすることを目指している。
- ・リニアについては、軽量化や車両形状の改良など消費電力の低減に努めていく。
- ・長野県では、「南アルプス育み（はぐくみ）の森プロジェクト in 大鹿村」という南アルプス地域における森林づくり活動を行っている。

## 【その他】

### ○阿部知事

- ・かねてから、木曽地域の皆様から、中央西線の利便性向上をJR東海の皆様をお願いしており、県民対話集会においても、ダイヤのあり方についていろいろご意見をいただいている。
- ・ダイヤなどの在来線の利便性について、地元のご要望を踏まえて検討いただきたい。

## ●JR東海金子社長

- ・色々と調整を加えたうえで今の形になっていると思うが、ご要望を踏まえて確認する。